

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2008年9月1日発行

暑さも峠を越えて、朝夕しのぎやすくなってきた今日この頃。みなさまは、いかがお過ごしですか？さて、はもりあ四日市では、「さんかくカレッジ」の季節がやってきました～!! 1つ目の講座は「私、働きたい-私の壁と社会の変化-」、9月16日(火)スタートです。2つ目以降の講座は10月号でお知らせしますから待っててくださいね!!

つどいよっかいちは10月25日。2ヶ月切りました。今年の会場は、あさけプラザです。手帳にチェック入れておいてくださいね。よろしくお願いします。



子どもが主役の料理教室を開催しました。(8/23・30)

この事業は、夏休み期間中に子連れで、はもりあ四日市を訪れてもらい、このはもりあ四日市の存在を皆さんに知っていただき、そして男女共同参画にちょこっと興味を持っていただくため企画しました。

当日は、講師を四日市市食生活改善推進協議会の方々をお願いして、小学生のお子さんとお父さん、お母さんでグラタン、コーンサラダ、キャロットゼリーを作りました。



慎重に野菜を切るこどもたち

☆☆☆☆私も切れたよ!☆☆☆☆

野菜を洗う子、ピーラーで野菜の皮をむく子、材料の分量をはかる子、野菜を切る子など、一人ずつが役割分担をして1年生から6年生までみんなが参加して料理を作り上げました。涙が出ちゃったけど、玉ねぎも頑張って切りました。

なんと、グラタンは、ホワイトソースからつくりました。そして、ゼリーはオレンジジュースににんじんを混ぜて、色を鮮やかにする工夫もしました。

サラダにかけるごまドレッシングも、材料をあわせて、手作りました。



できあがりメニュー

出来上がった後は、ミーティングフロアで、参加者全員で一緒に食べました。

初めて会う参加者同士でしたが、家での食事の様子、お子さんのお手伝いのこと、お父さんの料理への参加等々、いろいろな話をする事ができました。

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と仕事以外の生活の両立）が重要」と言われていますが、実際に家庭生活を充実することは難しいようで、お子さんと長時間関わることが時間的に難しいという話もでました。アンケートでは、お子さんからは「家で

はできないことをやって大変だったけど楽しかった」「家でもやってみたい」という意見があり、また、保護者の方からは「子供の成長が見れて良かった」「とても充実した体験だった」という意見がありました。

☆☆☆☆お片付けもみんなです!☆☆☆☆

はもりあ四日市の調理室は、1箇所の流し台と電磁調理器の部分がバリアフリー対応になっていて、お子さんの身長にあわせて昇降させることができるので、低学年のお子さんでも自分で食器を洗うことができました。また、こどものへやで、託児されていた妹さんもお姉ちゃんたちと一緒にお片付けに参加してくれました。

新規援助会員講習会開催!!

四日市市ファミリー・サポート・センターは、子育てを地域で支えあう会員組織です。子育てを助けてほしい人(依頼会員)に比べて助けたい人(援助会員)の数が不足しています。講習会を受ければ、どなたでも援助会員に登録できます。あなたの力を子育て支援に活かしてみませんか？

☎電話にて9月10日(水)までにお申込みください。

🆓無料(テキスト代2,050円必要です) ☎無料(事前にお申込みください)

日程	場所	内容	講師
9/17(水) 10:30~12:00	本町プラザ	こどもの世話(遊び)	元保育士 芳野 仙さん
9/25(木) 10:00~12:00	勤労者総合福祉センター	相互援助活動の趣旨	体験ひろば☆こどもスペース四日市 理事長 水谷 孝子さん
13:00~15:00		子どものからだと病気について	三原クリニック院長 三原 武彦先生
10/2(木) 10:00~12:00	労働福祉会館	救急法実習	日本赤十字三重県支部 富内 直美さん
10/4(土) 10:00~12:00	労働福祉会館	子どもの身体と心の発達	中部学院大学短期大学部 幼児教育学科教授 林 陽子先生
12:00~13:00		質疑応答	ファミリー・サポート・センター アドバイザ-の皆さん

📍四日市市ファミリー・サポート・センター(NPO 法人 体験ひろば☆こどもスペース四日市内)

☎323-0023

『審議会等への女性委員登用状況』がまとまりました。

四日市市では、男女共同参画社会の実現に向けて、女性の意見を政策方針決定の場に反映させるため、審議会等の男女の比率において、「平成22年度までに、男女の一方の数が委員総数の10分の4未満とならない構成」を目指しています。

《女性委員登用を進めている理由》

市内の人口の約半分を占める女性が市の政策方針を決める場に参画するということは、市民の意見を的確に反映できるとともに、議論に新しい視点を取り入れることもでき、今まで以上に幅広い議論を行うことができるからです。

《厳しい現状と今後の取組み》

本市の現状は、2008年6月1日現在で、委員総数に占める女性委員の割合は全体の28.3%に留まっており、分野によっては、専門知識を有する女性の数がまだまだ少なく、女性委員登用がなかなか進んでいません。今後は、実際に生活している方の目線の意見を聴くという観点から、委員構成枠を見直して審議会等委員に市民公募枠を創設するなど新たな対策をとって、多様な視点を取り入れていくことが必要です。

男女共同参画課では、人事課とも協力して審議会等の男女比の是正を図るための施策の一つとして、男女共同参画人材リストを作成し、運用しています。本市の政策決定にもっと女性の意見を取り入れていけるよう、人材リストを充実させていきたいと考えています。

【本市の審議会等女性委員登用状況】

調査基準日	審議会等 設置数	委員数			女性委員 登用率
		男性	女性	合計	
2008年6月1日	93	965	380	1,345	28.3%
2007年6月1日	92	946	358	1,304	27.5%

つどいよっかいち 速報！！

今年度も、実行委員会の皆さんによる企画案が
まとまりつつあります。
毎月、「つどいよっかいち女と男実行委員会」で
決定したことをこのコーナーで速報としてお知
らせします。

期 日 10月25日(土曜日)

テーマ “ワーク・ライフ・バランス 仕事と暮らしのハーモニー
～市民、事業者と連携して～ “

会 場 あさけプラザ

☆ ワークショップが決定しました！！

〈虹のしっぽ〉 体験ワークショップ 「自分となかよくなるにじみ絵」

ようこさんのピーハウス主宰 位田曜子さんを迎え、お話を聴いて心を落ち着けた後、3色の絵の具で自由に表現を楽しむ、優しい自己成長ワークです。

〈シーズネット三重〉 片野敬二氏講演とグループ討議

元富士電機社員の片野敬二氏を迎え、単身赴任中のパートナーとの交流や、退職後のトルコでのシニアボランティア体験などの講演を1時間程度していただいた後、今自分たちにできることなどをグループで話し合い、意見交換を行います。

〈NPO 法人 四日市男女共同参画研究所〉 報告「私たちが、今、取り組んでいること」

NPO法人は、ニーズに対するアイデアをすぐ形にできる、というメリットがあります。暴力などから着のみ着のまま逃れてきた女性たちのために設立した「せっぱつまった入用資金貸付バンク」を中心に研究所の取組みを報告し、皆様からのご意見をいただきたいと思ひます。

今月のおすすめ

今月号は、絵本の紹介です。図書コーナーには、子ども向けの絵本もあります。男女共同参画の視点でこれらの絵本を読んでみませんか？

「ぐりとぐら」

のねずみのぐりとぐらは、トレードマークの帽子とズボンを赤と青の色違いで着ています。男の子だけど、赤を着て、男の子だけど、おいしいカステラを作っちゃう、素敵な兄弟。みんなが大好きな1冊です。

「ウソつきなチルル姫」

チルル姫は、“なんか違う”と思っけていてもなんでも「ハイ」と答えなくてはいけない、と教えられて育ちました。イヤなことでもうそをついて「ハイ」と答えなければいけない、幸せではなかったチルル姫。遠い国の大金持ちのとの結婚が決まったとき、初めて「イヤ」と言いました。自分の意志をいうことを許されていなかったチルル姫が自分の意志を表現し、本当の幸せを見つけていくというお話です。



今月のキーワード

エンパワメント

エンパワメントとは、一言でいうと、「力をつけること」です。

男女共同参画でエンパワメントというとは、多くは「女性のエンパワメント」のことを指し、女性が社会的にも経済的にも力を持った存在となり、自分で自分のことを決める権利と能力を持つことを意味します。この考え方の前提には、性差別があります。女性は、重要なことを決定する場に参加する機会や、発言する機会を与えられないことが多くありました。現在、一人ひとりの力は小さくても、女性たちが少しずつ社会的に力をつけ、活動の幅を広げていくことにより、女性全体がおかれている不利な状況を変えていこうとしています。これは、女性全体の社会的地位が向上していくだけでなく、男性と女性がともに参画していくという男女共同参画の推進に大きな影響を与えています。



登録グループイベント情報

- 9月7日(日) だめママクラブ「働くということ」
時 10:00～12:00 費 300円 所 はもりあ四日市(本町プラザ3階) 会議室
問 ままたまご 水谷 (080-5166-9864)
- 9月13日(土) 世代交流会“健康ふれあい教室”
時 13時～16時 費 無料 所 総合会館3階 会議室1・2
問 健康サポートあさひっこ 草川 (090-8863-6286)
- 9月28日(日)～ 未来を担う子どもと大人のための日本語ボランティア養成講座(全8回)
時 10:00～16:00 費 無料 所 四日市市なやプラザ 定 30名程度
対 外国人を対象とした日本語学習支援活動に関心のある方で、原則としてすべての講座に参加できる人
問 NPO 法人市民社会研究所 (059-363-3539)

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、アイリス嵐山さんです。

アイリス嵐山

代表者 小橋 和子 会員数名 8名
連絡先 TEL/FAX 059-322-2590

平成3年、現在の国立女性教育会館(又エック)で開催された国内交流研修に、県内各地から参加した10名で結成しました。以後、調査研究を行ったり、県内外でワークショップを開催したりしています。昨年度は、「つどいよっかいち」で、山田雅子氏講演会を開催しました。また、平成15年には、当時三重大学客員教授の坂倉加代子氏と共同で、参加型で進める学習用教材「考える練習用ージェンダーってなんだ」を作成、発行しました(A5版、46頁)。現在も、男女共同参画の普及活動に積極的に取り組んでいます。

●●はもりあ四日市 施設利用について●●

子どもが主役の料理教室を実施した「調理室」には、講師用の作業テーブル、6人がけのテーブルが2つ、合計3つのテーブルと、3箇所の流し台、ガスコンロ、電磁調理器、製氷機などを取り揃えています。グループで気軽に、利用していただくことができます。今年度は、11月に、男性向けの料理教室「さんかくカレッジ はじめての台所～包丁の握り方から教えます」や、市内のパティシエさんを講師に迎えて、男性向けスイーツ講座「男だって甘いもの」を開催します。これからは、男性の皆さんも「男子、厨房に入ろう!!」ですね。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>